



# リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2023 レポート



主催  
公益財団法人 日本対がん協会  
リレー・フォー・ライフ・ジャパン実行委員会

## 2023年度のリレー・フォー・ライフ活動を終えて

がん患者とそのご家族を支援し、地域社会全体でがん征圧を目指し、年間を通じて行われるチャリティ活動のリレー・フォー・ライフ（以下RFL）。新型コロナの感染症法上の位置づけが5類に移行し、リレーイベント復活元年を掲げた今年度は北海道から沖縄まで全国49地区で展開されました。一方で、コロナウイルスは依然として私達の身の周りに存在し、感染のリスクに不安を感じている方もいらっしゃいます。思うように活動ができずイベントの開催を断念した地域もありました。

この冊子は2023年活動された各地の実行委員会の方に、その活動報告とRFLへの想いをまとめたものです。ぜひ、すべての実行委員会の投稿にお目通しいただき、RFLの魅力や地域の絆、そして「ひとりじゃない」ことを感じていただければ幸いです。

RFLはがん患者さんやご家族、ご遺族、そして支援者のみなさんが「希望（HOPE）」をもつ仲間とつながり、ストーリーを共有し、「変えたい」気持ちを共有する場所でもあります。今年47会場でHOPEの灯がともり、参加されたみなさんが大切な人と集い、語り合い、リアルで会える喜びを噛みしめました。

コロナ禍で生まれたセルフウォークリー（SWR）はリレーイベントに参加したくてもできない方が全国どこからでも歩くことで参加できる新たな支援活動となり4年目を迎えました。計42団体が独自のイベントを立ち上げ、全国で4,996人、約7億5,150万歩を歩いていただきました。

がんになっても安心して暮らせる社会に、安心して治療できる社会の一日も早い実現のためにRFLへ足をお運びいただきご参加いただければ幸いです。

最後になりましたが、活動を牽引してくださっているボランティアの実行委員会および関係者の皆様、変わらぬご支援をいただいているナショナルスポンサー様をはじめとする企業・団体様、RFLをご参加、ご寄付いただきましたすべての皆様に深く感謝申し上げます。24年度も引き続きご支援ご協力を賜りますようよろしくお願ひいたします。



公益財団法人 日本対がん協会  
リレー・フォー・ライフ  
チーム一同

是澤聰子	(RFLマネジャー)
原優子	(RFLアシstantマネジャー)
阿蘇敏之	(RFLアシstantマネジャー)
松島順子	(RFL担当)
平野登志雄	(スタッフパートナー)
時森由佳	(スタッフパートナー)
郷州葉子	(スタッフパートナー)
堀切園恵美	(サポートー)

## リレー・フォー・ライフとは

がん患者さんやそのご家族を支援し、地域全体でがんと向き合い、  
がん征圧を目指します。1年を通じて取り組むチャリティ活動です。

1985年、一人の医師がトラックを24時間走り続け、アメリカ対がん協会への寄付を募りました。「がん患者は24時間、がんと向き合っている」という想いを共有し支援するためでした。共に歩き、語らうことで生きる勇気と希望を生み出したいというこの活動を代表するイベントは、現在世界34ヶ国、約3500ヵ所で開催され、年間寄付は300億円にのぼります。

リレー・フォー・ライフ活動の締めくくりとしてウォークイベントが開催されます。会場ではチームの仲間とタスキをつなぎ、がん征圧を願い歩きます。

## RELAY FOR LIFEの使命と3つのテーマ Save Lives

セーブライブス

祝う

Celebrate

しのぶ

Remember

立ち向かう

Fight Back

がんの告知を乗り越え、今を生きているサバイバーや  
家族などの支援者を讃え、祝福します。

がんで亡くなった愛する人をしのび追悼します。また  
病の痛みと悲しみと向き合っている人たちを敬います。

がんの予防や検診を啓発し、征圧のための寄付を募り、  
がんで苦しむ人や悲しむ人をなくす社会をつくります。

3つのテーマに支えられ、使命であるSave Livesが成り立っています

### ロゴについて



リレー・フォー・ライフのロゴは、太陽を月と星をかたどった世界共通のものです。

それは昼夜を問わず、がんという病に立ち向かう世界中の数えきれない人々の勇気とリレー参加者への絶え間ないサポートを象徴しています。 いつの日かがんで悩むことのない社会が訪れるという希望の星をかけ、輝く太陽の下、降りそそぐ月の光の中で参加者が一丸となって共に病に立ち向かう。

リレー・フォー・ライフのロゴには、そんな思いが込められています。

# 皆様からのご寄付

リレー・フォー・ライフで寄せられた寄付金は、公益財団法人 日本対がん協会を通じて、下記のような支援に充てられています。

## がん患者支援

### ▶ リレーイベント



年間活動の締めくくりです。チームの仲間と会場でタスキをつなぎ歩いたり、キャンドルライトセレモニー「ルミナリエ」をおこないます。

### ▶ がんの悩み相談



看護師・社会福祉士などによる電話相談を実施しています。患者さんだけでなく、ご家族やご友人の方などどなたでも無料でご利用いただけます。

## がん相談ホットライン

☎ 03-3541-7830 予約不要

毎日(年末年始を除く) 10~13時、15~18時  
どなたでもご利用いただけます

※受付日時は変更になる場合があります。  
日本対がん協会ホームページでご確認ください。

## がん征圧

### ▶ プロジェクト未来



がんの新しい治療法や新薬開発、患者のQOL改善に向けた研究に寄付金が活用されています。2023年度は19名の研究者に助成金が贈られました。

### ▶ がん検診受診率アップ



ポスター・パンフレットを制作・活用し受診を呼びかけます。支部と連動したリレー会場における検診車の手配や、セミナーなどの啓発活動もおこなっています。

### ▶ 若手医師育成

がん医療を深く学びたい若手医師育成のため、海外留学研修費用の一部を助成する取り組みです。米国の研究施設での研修が、日本のがん医療発展につながることを期待して設立されました。

2022年度 奨励賞受賞者 柴田祐司さん

リレー・フォー・ライフのご支援により、2023年4月よりアメリカのヒューストンにあるMDアンダーソンがんセンターで肺癌の分子標的薬の開発に関する研究を行っておりまます。ここで得られた経験を世界中のがん患者さんに還元できるよう努めたいと思います。



# “RFL パスポート”登場

今年、新たなグッズがお目見えしました。それは実行委員の声から生まれた“RFL パスポート”。

御朱印帳をイメージしつつ“出愛”が広がるツールとなる様にとの思いで制作メンバーが作成しました。各地の会場ではこのパスポートを目印に沢山の会話が生まれ、笑顔の花が咲き、その人だけのリレーヒストリーが始まりました。手にした方のなかには、パスポートをきっかけにより多くの繋がりが持てたとの嬉しい声も聞かれました。



## 自由な使い方が可能な“RFL パスポート”

このパスポートはスタンプを押すだけでなく、メモ欄を活用して自分の参加記録としても利用できます。また会場で出会った方同士がメッセージの交換をしながら会話を弾ませる姿はとても印象的でした。パスポートがそれぞれの思いや背景に応じてより自由にカスタマイズされお互いの経験などを共有するアイテムになればと願っています。

## 地域の特色を生かしたオリジナルスタンプ



制作メンバー: 城村勉(芦屋)、大菅善章(GHOH)、香留美菜(とくしま)、松島順子(協会)

パスポートといえば思い浮かべるのはスタンプ。“RFL パスポート”ではその会場でしか押すことの出来ないご当地キャラや名産など特色を生かしたデザインのオリジナルのスタンプがお出迎えすることも魅力です。制作にはプラザー工業株式会社様(名古屋市本社)にご協賛いただきました。厚く御礼申し上げます。

今後、“RFL パスポート”を手にするリレーヤーが増え、各地で“出愛”的輪が拡がることを楽しみにしています。



# RFLセルフウォークリレー2023

## がんサバイバー支援を胸に4,996人が参加、7億5,150万歩を歩む

参加者が好きな時に好きな場所で歩いた歩数をスマホアプリに記録。参加費と歩数に応じた金額が寄付されるオンラインチャリティイベントです。RFLの在り方もコロナ禍で変わり、リレーイベントに参加したくてもできない方が全国どこからでも歩くことで参加できる新たな支援活動となりました。



今年は4年目、協会本部と26実行委員会は5月から11月までの実施、15企業は9月から2024年1月までの実施でした。期間は2日間から1か月と様々ですが、最多の555名参加の企業もありました。合計4,996人、約7億5,150万歩を歩いていただきました。セルフウォークリレーの模様は、各団体のホームページやSNSで配信されました。

上記42イベントの寄付は785万円。それに特別協賛13企業のマッチング寄付合計1,815万円を合わせた計2,600万円が今年のチャリティセルフウォークリレーの結果でした。お預かりしたご寄付は、日本対がん協会が運営している「がん相談ホットライン」の相談6,500件の運営に充てられます。ありがとうございました。

今後もRFL活動のひとつとして継続してまいりますのでよろしくお願いいたします。

	企業チーム名	SWR実施日時	歩数	参加者数	寄付金(円)
1	ブラザー	9/13~10/13	68,056,456	344	447,000
2	アップヴィ	9/16~17	3,736,437	283	345,519
3	明治安田生命大阪第5M	9/26~10/25	8,282,473	31	33,000
4	ベックマン・コールター	9/30~10/30	16,007,668	74	132,000
5	JAIFAソニー東京	9/30~10/30	9,959,322	67	43,000
6	メルクバイオファーマ	9/30~10/31	21,917,201	101	300,000
7	シスメックス	9/30~10/31	16,023,862	101	184,000
8	MDRT中四国ジブラルタブロック	10/1~31	26,385,538	194	263,000
9	第一三共グループ	10/7~31	93,817,406	555	1,961,000
10	エクイニクス・ジャパン	10/30~11/17	5,234,371	56	150,000
11	チームタケダ・ジャパン	11/1~30	35,063,429	204	635,444
12	小野薬品工業	11/1~30	62,209,903	474	488,000
13	エーザイつくば	11/1~30	21,839,684	111	120,000
14	テルモ	12/14~1/14	21,268,921	115	354,000
15	熊谷組	12/18~1/17	31,549,690	183	208,000
合計			441,352,361	2,893	5,663,963

	実行委員会名	SWR実施日時	歩数	参加者数	寄付金(円)
1	三重	5/1~31	9,063,498	42	48,000
2	とくしま	6/1~30	7,070,043	45	33,000
3	きたかみ	6/10~7/2	8,559,019	75	85,000
4	神戸	6/10~7/10	6,979,145	36	33,000
5	とまこまい	8/1~31	41,197,927	336	366,000
6	甲府	8/1~31	11,796,962	78	99,000
7	信州長野	8/10~9/10	8,866,084	77	110,000
8	にいがた	8/18~9/17	9,687,242	68	82,000
9	室蘭	8/26~9/25	3,573,029	27	20,000
10	いわて	9/1~30	6,036,868	32	26,000
11	かがわ高松	9/1~30	5,942,441	42	35,000
12	川越	9/1~30	28,716,092	140	122,000
13	中津	9/1~30	5,033,907	33	46,000
14	東三河	9/8~10/8	12,207,295	76	115,000
15	岐阜	9/15~10/14	6,861,376	38	33,000
16	京都	9/15~10/15	6,980,256	50	26,000
17	滋賀医科大学	9/15~10/15	23,805,985	131	175,000
18	大分	9/16~10/15	12,929,651	92	152,000
19	さいたま	9/30~10/31	22,791,795	123	132,000
20	高知	10/1~31	10,477,986	51	52,000
21	ふくい	10/1~31	2,133,982	28	30,000
22	泉州	10/1~31	2,968,547	21	18,000
23	信州まつもと	10/14~11/13	12,491,127	106	40,000
24	おきなわ	11/1~30	19,449,487	201	111,000
25	静岡	11/1~30	9,673,417	65	63,000
26	石川	11/25~30	122,025	3	0
合計			295,415,186	2,016	2,052,000
日本対がん協会 (全国だれでも)		11/1~30	14,730,001	87	141,000

## 北海道 室蘭市

## 室蘭実行委員会

## 4年振りの夜越え開催

副実行委員長  
穴井 ひとみ

リアル開催	8月26日～8月27日
開催地	カナスチールみたら室蘭 横
オンライン	—
SWR	8月26日～9月25日

総 収 入	1,849,750円
実 行 経 費	1,093,600円
寄 付 総 額	756,150円

## とまこまい実行委員会

北海道 苫小牧市  
とまこまいのチャレンジ  
～Save Livesを未来へ～実行委員  
牧田 俊之

リアル開催	7月22日
開催地	出光カルチャーパーク
オンライン	—
SWR	8月1日～8月31日

総 収 入	1,814,613円
実 行 経 費	1,137,613円
寄 付 総 額	677,000円

## 青森県 八戸市

## 八戸実行委員会

リレー・フォー・ライフは、  
歩みを止めない!!!!実行委員長  
小渡 章好

八戸の2023リレー・フォー・ライフはコロナによる3年間のブランクを経て、6月24日土曜日中心街ど真ん中マチニワにて開催されました。ボランティアの皆さんも限られ、いつもはたくさんの中高生も今回は募集を回避しました。一方で看護学校の生徒さんが自主的に参加してくれ大きな力になりました。

開催時間は昼から19時で、小さな会場、時間も短いですが、開催できる喜び、まだ会えていないサバイバーさん、市民の皆さんとRFLの時間を共有できる、これに勝る至福はありません。会場が中心街なので、通りがかりに立ち寄ってくださる方もあり、従来と異なる効果も感じました。地元紙が非常に大きく掲載してくださり、RFLをまだ知らない方々、参加の一歩を踏み出せないでいる方にも、大きな力になると思います。

入念な準備で分かりやすく濃密な講演をしていただいた医師のF先生、新調の衣装で素晴らしい音楽を会場一杯に満たしてくれたゴスペルグループ、伸びやかなハーモニーと踊りのハワイアンのみなさん、いずれもコロナによる休止期間も欠かさず準備を重ねたのでは、と思わずにはいられない完成度で、そのお心に深く感動しました。八戸のかっちゃラジオ体操リーダー、ますます絶好調!!

がんについて心配していることがひとつ。コロナで、がん検診受診者数が減ったとのこと。RFLを通して多くの方が検診に行くきっかけも作っていきたい。



リアル開催	6月24日
開催地	八戸まちなか広場マチニワ
オンライン	—
SWR	—

総 収 入	1,079,889円
実 行 経 費	669,900円
寄 付 総 額	409,989円

## 青森実行委員会

## 青森県 青森市

事務局長  
加藤 幸二

日頃からご支援頂いている皆様におかれましては、今年度も大変お世話になりました。コロナで3年開催できていなかったリレーイベントを、今年こそはと実行委員全員で一致団結し取り組んでまいりました。夜通しする24時間リレーイベントにするか、半日を2回に分けるなど様々な意見が出される中、やはりリレー・フォー・ライフ本来の趣旨である「24時間歩き続ける」ということを大切にしてきた青森実行委員会として24時間に拘ることにしました。4年ぶりに開催するにあたり様々な壁を乗り越えなくてはいけませんでしたが、たくさんの方々のご協力のお陰で無事終えることができました。

4年ぶりに開催する今回のテーマは「再会」。久しぶりの再会を皆で手と手を取り合い、喜びを分かち合いたいと思いこのようなテーマにしました。その再会を喜ぶサバイバーの方々の触れ合う姿を見て、改めて継続することの意義を感じることができましたし、残念ながら再会することのできなかったサバイバーのご家族とお話をさせて頂き、健診の大切さ、啓発の重要性を再確認させていただきました。青森県内にもっともっとリレーの輪が広がるような運動をしていきたいと思いました。ありがとうございました。



リアル開催	9月2日～9月3日
開催地	青森県立保健大学
オンライン	—
SWR	—

総 収 入	712,248円
実 行 経 費	192,248円
寄 付 総 額	520,000円

## 岩手県 一関市

## 続ける力+新しい風=これからのRFL

副実行委員長  
小野寺 佳美

一関・平泉地域での開催は12年目となりました。新型コロナウイルス感染症が感染症法上5類に変更されたことを受け、24時間開催も検討されましたが、本年も時間を短縮した形でのリレーイベントと関連行事を行う事としました。

開催日が近づき週間天気をみると台風直撃の予報。3日前に急遽開催した実行委員会で体育館施設が借りられることがわかり、開催場所の変更を決定しました。

当日は開催場所変更の周知不十分、駐車場の準備不足などご迷惑をおかけしましたが、それでも昨年を上回る参加者が集まり、久々に会えた仲間と言葉を交わすことができました。

「一関地域の在宅緩和ケアを考えるリボンの会」代表の皆川和子さんとFMあすも塩竈一常さんの対談から始まり、笑いヨガ、オカリナ演奏がありました。takaTA KAAの楽曲「あすもあしたへ」で会場が一つになり、エンブティーテーブルセレモニーで締めくくられました。

コロナ禍で休止されていた対がん活動は徐々に再開されていますが元通りではありません。サバイバーが参加しやすい環境づくり、ボランティアスタッフを増やす取り組みが課題です。地域の人たちや他地域の実行委員会とのつながりが力になっています。共に歩いていきましょう。



## リアル開催 9月9日

開催地 サン・アビリティーズ一関  
オンライン －  
SWR 9月1日～9月30日

総 収 入	1,188,971円
実 行 経 費	140,655円
寄 付 総 額	1,048,316円

## きたかみ実行委員会

## 岩手県 北上市

## ～がんになっても住みよい街を目指して～

実行委員長  
高橋 寛美

リレー・フォー・ライフ・ジャパンきたかみ2023リレーイベントを無事開催することができ、また昨年の参加人数を超える多くの皆さんにご参加いただき誠にありがとうございました。

私事で恐縮ですが昨年夏に左脳への転移が認められ、自分の中で不安や恐怖、もしかしてもうダメかな…など気持ちが入り乱れた時期もありました。そんな時、私にとって仲間の存在は大きな力となりました。治療を終えまた前向きに歩むことができるのも、ともに歩んでくださる仲間がいるからだと思います。

今年のリレー・フォー・ライフ・ジャパンきたかみ2023のイベントにおいて「がん治療と仕事の両立支援」をテーマに対談が行われました。私自身は職場環境に恵まれ、治療後すぐに職場復帰することができましたが、希望する仕事に復帰できずやむ得ず退職を余儀なくされる方もおります。現在は治療の進歩とともに、がんと共生できる時代になってきております。イベントを通じ、治療をしながら望む仕事の継続、暮らしができるよう今後も啓発活動を続けてまいりたいと思います。「がんになっても住みよい街」は「どんな状況になっても住みよい街」となります。

最後にリレーイベントを開催するにあたり、北上市、北上医師会、北上歯科医師会、北上薬剤師会の共催、市内外の企業、団体個人等多くの皆様のご理解ご協力があり、募金、協賛を頂きましたこと感謝申し上げます。



## リアル開催 6月10日

開催地 みちのく民俗村  
オンライン －  
SWR 6月10日～7月2日

総 収 入	1,072,818円
実 行 経 費	217,562円
寄 付 総 額	855,256円

## 宮城県 仙台市

RFLJ2023みやぎ  
4年ぶりのリアル開催!!実行委員長  
高橋 悅堂

RFLJ2023みやぎは10月14日(土)に仙台市榴岡公園にてリレーイベントを開催致しました。4年ぶりのリアル開催となる本年は好天に恵まれ、多くの方にご参加いただき、大盛況のうちに終えることが出来ました。

今年は、仙台駅から会場までの約1kmをサバイバーさんやケアギバーさん、参加チームの皆さんと一緒にフラッグを掲げて歩き、会場到着に合わせて開会式を行いました。開会式では宮城県知事村井嘉浩様、仙台市議会議員渡辺博様から祝辞をいただきました。すい臓がん患者と家族のおしゃべりサロン「ぶどうの木」代表の濱端さん、「仙台書き隊」の玉井さん、穂波の郷クリニックの皆さん、在宅がん患者遺族会「りぼんむすびの会」の伊東さんにはステージでRFLの3つのテーマを体現していただきました。また、青空応援団さん、麦の穂音楽隊さん、アーティストのISSINさん、第501軍団日本部隊さんたち常連参加者さんにも大いに力をいただきました。

RFLJみやぎは今年で15年。がんになっても住みよい地域をつくり、サバイバーさんやケアギバーさんが繋がりあえる場をつくるために活動してきました。少しずつではありますが、活動が県内に浸透しつつある手ごたえを感じています。

来年2024年には24時間リレーイベントの再開を検討しています。これからもみなさんよろしくお願い致します。



## リアル開催 10月14日

開催地 仙台市榴岡公園  
オンライン －  
SWR －

総 収 入	1,034,881円
実 行 経 費	343,138円
寄 付 総 額	691,743円

## あきた実行委員会

## 秋田県 秋田市

## みんなのつながる場所となる秋田のリレー

実行委員長  
守田 亮

今年で2回目となる、秋田のリレーは9月9日に秋田市千秋公園で開催されました。昨年は『リレーってなんだろう?』と戸惑いを感じる参加者が多かった秋田のリレーですが、今年は『誰のためのリレーか、何のためのリレーか…』を肌で感じることができるリレーだったのではないかと自負しています。

今年は北は北海道から、南は岐阜・大阪までと県外から多くの参加者に秋田に来ていただきました。そして実行委員として最も嬉しかったのは、県外から参加していただいたサバイバーさん達と秋田のサバイバーさん達やケアギバーさん達が交流を持ち、小さなサロンが開催されていたのが印象的でした。繋がることができるリレー、そっと心を支えてくれる出会いがあるリレー…、秋田の実行委員が目指してきたリレーが形になっていました。

また地域にも少しずつ浸透してきたことも感じました。男鹿市からは協賛としてナマハゲが会場に応援に駆けつけて太鼓の演奏を披露してくださり元気をもらい、日本三大盆踊りの一つである西馬音内の盆踊りを見て、亡くなった方を偲びました。会場も小さく、参加人数も少ないリレーかもしれませんが、今後も目的を見失わないリレーを続けていければと思います。皆様本当にありがとうございました。



## リアル開催 9月9日

開催地 秋田市千秋公園  
オンライン －  
SWR －

総 収 入	663,263円
実 行 経 費	323,399円
寄 付 総 額	339,864円

## 福島県 福島市

2023年リレー・フォー・ライフ・ジャパン  
福島を振り返って記録係  
齋藤 ひろ恵

14回目を迎えた今年も晴天の下で開催することができました。きっと参加された皆さまと実行委員のみんなの日ごろの行いが良いからでしょう。会場は昨年に引き続き『あづま総合運動公園 中央広場』でした。

今年、初めての試みとして風船のアーチを作りましたが、とても素晴らしい出来上がりで感動しました。風船担当の皆さまに感謝です。また、初めて参加のゲストの方もいらして、盛り上げてくださいました。カッパさんでしたがフラダンスや高校生にも負けないほどとても素敵でした。

私は記録係として11年目になりましたが、毎年、参加される皆さまの表情を撮影し、皆さまの笑顔にとても元気をもらっています。毎年お会いできることが本当に嬉しいですし、新しくお会いできた方もいらして嬉しいです。これからも皆さまの笑顔を撮り続けたいと思います。

11年という歳月を通じて培った経験や知識は、私の人生において非常に貴重なものとなっています。これからも引き続き撮り続けていきたいと思います。

来年はどんな皆さまにお会いできるか楽しみです。

## 福島実行委員会



リアル開催 9月24日

開催地 あづま運動公園中央広場

オンライン —

SWR —

総 収 入 2,435,129円

実 行 経 費 1,621,963円

寄 付 総 額 813,166円

## 栃木県 壬生町

## 3年ぶりの夜越え開催

副実行委員長  
荒川 正子

新型コロナウイルス感染症の流行で2020年は中止、2021年はオンライン開催でした。2022年は半日開催でしたが、現地で久しぶりに見知った方々と顔を合わせ、特にサバイバーの皆様が大会を待ちにしていたことに心打たれ、来年こそは24時間開催をと誓いました。そして今年、ようやく夜通しの24時間開催が実現しました。参加チーム数38チーム、ルミナリエ2,211基と従来通りの参加があり、天候にも恵まれ、無事に閉幕できて安堵しています。

皆様からお預かりしたルミナリエは例年通り鹿沼市の薬王寺様でご住職様に御祈願頂いたあと、お焚き上げさせていただきました。当日は朝から土砂降りで14時のお焚き上げは難しいかなとほぼ諦めていたところ、開始10分前に急に雨が上がり、お寺の上空だけ厚い雲の切れ間に青空が広がりました。また、私たちの願いを祝福するがごとく、空に大きな虹が出ました。「2時に虹」などとダジャレを言いながら天候の急速な回復に感謝し、例にもれず「お焚き上げの日は絶対に晴天」ですねと実行委員一同で喜び合いました。ルミナリエに込められた大勢の皆様の想いは青空に向かって立ち上る一筋の煙とともに天に還りました。来年も栃木が誇る多数のルミナリエが灯る中、リレーができる事を心から願うひと幕でした。

## とちぎ実行委員会



リアル開催 9月2日～9月3日

開催地 壬生町総合公園陸上競技場

オンライン —

SWR —

総 収 入 3,498,346円

実 行 経 費 3,060,471円

寄 付 総 額 437,875円

## 群馬県 前橋市

## 5年ぶりの夜越え開催

副実行委員長  
狩野 太郎

2019年は大型台風による中止、その後はコロナ禍に伴う代替イベントや短縮開催が続きましたが今年は67チーム、のべ4,562名の皆様にご参加頂き5年ぶりに夜越え開催が実現しました。超速戦士G-Fiveによるがん予防啓発アクションショー、ピアノやウクレレ、バンド演奏などのステージイベント、チャリティーくじや飲食ブースも復活し華やかで楽しい2日間となりました。一方、5年間のブランクによる影響は大きく、深夜から早朝のリレーウォーク参加者はコロナ禍以前の1/3と大幅に減少しました。しかし、熱意あふれるチームや個人の努力により、ぐんまのリレーは深夜も途絶えることなく、無事朝を迎えることができました。常連チーム・ボランティアが恒例のスタンプラリーや給湯サービスで支援してくれたほか、新しい仲間や、大勢の学生ボランティアガルミナリエの設置などで活躍してくれました。2013年初開催のぐんまにとって、今年は新たな10年の始まりの年となりました。新たな試みとして、14時開会、翌10時閉会の20時間開催としたところ、準備や撤収の負担が大幅に減少しました。これからも皆さまの御意見を伺いながら、魅力的で、継続しやすいイベントにしていきたいと思います。

最後になりますが、事務局の群馬県健康づくり財団の皆さん、協賛企業、ボランティアの皆さんをはじめ、応援して下さった全ての方々に心から敬意と感謝を申し上げます。

## ぐんま実行委員会



リアル開催 10月7日～10月8日

開催地 県総合スポーツセンター

オンライン —

SWR —

総 収 入 6,025,254円

実 行 経 費 4,488,280円

寄 付 総 額 1,536,974円

## さいたま実行委員会

## 埼玉県 さいたま市

## ONE TEAM さいたま

副実行委員長  
藤野 信子

第15回の記念すべきRFLJさいたまリレーイベントは、雨が上がり、西の空に大きな虹がかかる9月30日(土)早朝、会場全体の測量がすでに終えられた「緑の広場」に100名以上のボランティアが集まり会場準備から始まりました。長く参加してくださっているチームの中からも「コロナ禍でリレーを知らない新人・学生が多くいる」という声が上がったため、参加者が無理をせずに楽しくリレーの意義を実感できるようにと昨年は縮小させた会場を全面に戻しながらも1日開催としました。限られた時間の中でもさいたま市消防音楽隊による応援演奏・学生エイサークルによる応援演舞・5人の医師による啓発講演・多くの学生ボランティアや参加チームのご協力をいただいた「もっと知ろうがんのことスタンプラリー」など内容は盛りだくさんでした。また、埼玉県内の実行委員会で作る「チーム彩の国」の皆さんや全国各地のリレーヤーも多数参加してくださり、再会を喜び語らい合うことができました。

リレーの原点である「がんに対する社会の意識を変える」「サバイバー・ケアギバーに寄り添う」をさらに実践できるよう、また、埼玉県内で「がんで困っている人」を一人でも減らし、「安心してがんと向き合える」よう、チームの皆さん、チーム彩の国の人々と共にONE TEAMとなり、「夜越え」のリレーイベント復活を目指し2024年も取り組んでいきます。



リアル開催 9月30日

開催地 さいたま市緑区 緑の広場

オンライン —

SWR 9月30日～10月31日

総 収 入 3,076,205円

実 行 経 費 1,508,555円

寄 付 総 額 1,567,650円

## 埼玉県 川越市

みんなで奏でよう  
リレー・フォー・ライフ実行委員長  
野口 悟

15年目を迎えた川越のリレーは、昨年に引き続き街なかで開催し、26チーム307名に加え個人参加、スタッフ合計で439名のご参加を頂きました。その内82名がサバイバーさんの参加です。多くのサバイバーさんをお迎えできたことを本当に嬉しく思います。

今年のトピックスとして、蔵の街にある11商店街の皆様の協力を頂き、街じゅうを紫色に染める「川越紫化計画」を行いました。募金箱の設置、紫色のソフトクリームやクリームソーダ、組飴などオリジナル商品の販売、啓発ポスターの掲示、のぼり旗の設置など様々なご協力を頂きました。

また、今年のセルフウォークリーは140名の参加で2872万歩、10万円以上の寄付を頂きました。そして、リレーには欠かせないHOPEの文字を折り鶴で作りました。折り鶴は20の実行委員会を含む30団体から978羽送って頂きました。遠いところからも川越のリレーを応援してくれる、温かいお気持ちが詰まったHOPEとセルフウォークとなりました。

大好評のサバイバーさん向け無料着物レンタルやストリートピアノ、乳がん検診車、中学生によるがん検診の呼びかけなど、昨年から引き続きご協力いただいている企画も多く、リレー・フォー・ライフが地域に定着してきていると実感します。また来年皆様にお会い出来るのを楽しみにしております。

## 川越実行委員会



## リアル開催 9月17日

開催地 蓼馨寺

オンライン —

SWR 9月1日～9月30日

総 収 入 1,580,778円

実 行 経 費 702,778円

寄 付 総 額 878,000円

## 埼玉県 所沢市

リレー・フォー・ライフ・ジャパン  
ところざわ2023活動報告実行委員長  
松島 一浩

1年間の活動の集大成として3回目のリレーイベントを5月20日に開催しました。参加者、約250名(内サバイバー29名)、チーム数11(内新規チーム3)、昨年よりも多くの方にご参加いただきました。ご支援頂きました皆さまありがとうございました。

今年は新たな試みとして埼玉県健康づくり事業団様に、マンモ検診カーをご用意いただき20名の方に乳がん検診を体験して頂く事ができました。

ステージでは『がんを知ろう・話そう・考え方』をテーマに掲げ、①いぐち歯科クリニックの衛生士さんに「口腔ケアの大切さ」、②サルコーマ患者会の方に希少がん治療に関する問題点、③3名のサバイバーさんに体験談をお話いただきました。がん告知を受けて間もない患者さんが体験談を聞いておられ、同じ部位のがんを経験されている先輩サバイバーの体験談は治療を受けてゆく勇気と未来に希望を持たとお話されていたのが印象に残りました。

また、歌(バービンズ)、紙芝居(ちっち)、バルーンメッセンジャー(海賊タロウ)の皆さんのがステージに色を添えてくださいました。

たとえがんになんでも困らない社会を目指して活動を継続して参りますので、引き続きご支援ご協力をお願いいたします。

## ところざわ実行委員会



## リアル開催 5月20日

開催地 所沢航空記念公園

オンライン —

SWR —

総 収 入 1,329,304円

実 行 経 費 866,304円

寄 付 総 額 463,000円

## 千葉県 柏市

## 今、ちばが熱い!!

副実行委員長  
杉山 昇

RFLJちば2023は、多くの皆様に支えられ開催することができました。今年は初参加の方も多く、北海道や東海地区等遠方からの参加もありました。RFLJちばテーマソング「希望の歌」(シンガーソングライター松尾貴臣さん)の生歌をバックに歩いたサバイバー&ケアギバーズラップ。がんに対する啓発の場となった、国立がん研究センター東病院長大津先生とサポートイブケアセンター副センター長坂本先生の対談。チーム紹介では皆様から熱い想いを語って頂き、バンド演奏やフラダンス、そして「実行委員長ASUKAのとっても元気になるエクササイズ!!」では会場が熱気に包まれました。実行委員長が皆さんと一緒に汗をかいて元気に踊ることは、ちばならでは!サバイバーズトークでは5名の貴重な体験談を聞くことができました。エンブティーブル～サイレントウォーク、最後にラストウォークで全員が一丸となり、ちばのリレーを大盛況で終えることができました。サバイバーの立場、ケアギバーの立場、様々な立場からと、それぞれが胸に秘める想いを持ちながらの参加です。皆様が持つ幾つものストーリーが集まってこそ「RFL」が成り立つのだと思います。その熱い想いが集まったRFLを地元の千葉県で開催できることの幸せを噛みしめつつ、来年度の開催に繋げていきます。2024年度は10月26日(土)開催予定。皆様と再会できるのを楽しみにしております!



## リアル開催 10月28日

開催地 千葉県柏の葉公園体育館

オンライン —

SWR —

総 収 入 472,602円

実 行 経 費 117,602円

寄 付 総 額 355,000円

## 東京中央実行委員会

## 東京都 台東区

共に支え歩く・語る・偲ぶ…  
がん征圧をめざして事務局長  
松原 幹夫

「RFLJ2023東京上野」は東京都福祉保健局技監 成田友代様、台東区長 服部征夫様のご挨拶、当実行委員会顧問 アグネス・チャンの開会宣言で始まりました。当初は夜越24時間をめざしましたが諸般の事情により1日のみの開催となりました。参加者約650名(内サバイバー130名)、来場者約7000名で、多くの方から「また会えてよかったです!」と、喜びのお言葉をいただきました。

なお翌日は「都民の日」で動物園等が無料になり、大勢の来園が予想されたことから、本部テントのみでRFLのPRと募金活動、物販を行いました。

啓発プログラムでは、国立がん研究センターたばこ政策情報室 平野公康室長に「電子タバコの有害性と公共政策の現状～現在分かっていること、分かっていないこと そして求められる啓発の実態～」、NTT東日本関東病院乳腺外科部長・がん相談支援センター長 沢田晃暢医師に「がん一搖れ動く気持ちの正体とその先～がん患者の精神的ケアを考える～」、亀田ファミリークリニック館山院長 岡田唯男医師に「家庭医とは?信頼できる主治医を見つけよう!～家庭医、総合診療医、開業医、かかりつけ医って?見過ごされたがんの話～」と題するご講演と、参加者との活発な質疑討論で、大勢の方が有益な情報を得られました。

「上野リレーカフェ」では俳優でサバイバーの古村比呂様に、多くの参加者と懇談いただきました。



## リアル開催 9月30日

開催地 東京上野(上野恩賜公園)

オンライン —

SWR —

総 収 入 3,828,238円

実 行 経 費 3,628,971円

寄 付 総 額 199,267円

## 東京都 文京区

4年ぶりの現地開催  
～人と人とのつながりの大切さを再認識～事務局長  
坂下 千博

私たち御茶ノ水実行委員会は7年前の設立当初から「頑張らないを当たり前に」というスローガンを掲げてきました。がん患者さんやそのご家族が早く元気になれるよう私たちは応援しています。一方で頑張りすぎている皆さんには無理をせず周りに助けを求める環境があればいいなと思います。御茶ノ水のRFLにはそんな環境があると思っています。御茶ノ水のRFLには仲間がたくさんいます。一人ではありません。自粛期間を経て対面での人ととの繋がりの大切さを改めて実感することができました。私自身はケアギバーですが、現地で皆様にお会いすることができ元気をもらうことができました。

当日は強風のためテント設置を断念するところからのスタートでしたが、ボランティア・チームの皆様の臨機応変な対応により無事開会式をスタートさせることができました。ステージでは、在宅医療についてのご講演やがん患者さんやそのご家族と医学生の対話の時間も設けられ有意義な時間となりました。他にも東京医科歯科大学のアカペラ部の皆様による素敵なお演奏や毎年恒例のジェスチャーゲームで会場も盛り上りました。

4年ぶりの現地開催、2日間晴天に恵まれ無事終えられたこと心から嬉しく思います。関わってくださったすべての皆様に心より感謝申し上げます。また来年お会いしましょう!

## 御茶ノ水実行委員会



リアル開催 10月7日～10月8日

開催地 東京医科歯科大学

オンライン －

SWR －

総 収 入	282,803円
実 行 経 費	2,803円
寄 付 総 額	280,000円

## 神奈川県 横浜市

## 過去最高額です!!

実行委員長  
池田 誠吾

みなとみらい会場で11回目のイベントを無事終えることができ、なんと!今年度は過去最高額が集まりました!これもたくさんの皆さんのご協力の賜物と本当に感謝しております。がん撲滅に向けてまた一步前進です!!

今回、初めて会場にご参加頂いたサバイバーの方々とたくさんのお話ができることが自分には最高の思い出になり、また来年お会いする約束もしました。

皆さんのご協力が、現在、そして未来のサバイバーへの希望(HOPE)に必ずつながります。がんで悲しむ人や悩む人がゼロになる日はきっと訪れます。その日をみんなで盛大にお祝い出来ることを目指してこの活動を続けていきます。来年もたくさんの笑顔であふれるイベントの実現にむけて実行委員のメンバー全員で準備に取り組んでまいります。

「がん」が「風邪」と同じような扱いになるかのような世の中になりますように…。  
大感謝

## 横浜実行委員会



リアル開催 9月30日～10月1日

開催地 臨港パーク

オンライン －

SWR －

総 収 入	2,114,418円
実 行 経 費	634,418円
寄 付 総 額	1,480,000円

## 新潟県 新潟市

コロナ禍を乗り越えて  
取り戻した温もりを手に。実行委員長  
石塚 紀明

にいがた実行委員会は今年、実に4年ぶりの通常開催を開くことが出来ました。コロナ禍に突入し2020、2021年を手探りのなかでオンラインというかたちで開催。2022年は大事をとって1日開催を試験的に実行。無事に終える事ができ、晴れて今年は夜通しの本来のかたちに戻す事が出来ました。

2021年、コロナ禍の真っ只中で実行委員長に就任し、ある意味前例のないところからのスタートで右も左も判らない。まわりの実行委員も同様に困惑しながら何とか今日まで来ました。開催を楽しみにしてくれている全ての方に応えたい。唯々そこに向かって皆で突き進みました。それが出来たのもサバイバー、ケアギバー、来場者の方々、3年半一緒に踏みとどまってくれた実行委員やボランティアの皆様のおかげでした。

誰一人でも欠けていたら当日が成立していなかったと思います。本当に、ありがとうございました。これから関わってくださる全ての方々に感謝し、頑張らせて頂きます。



リアル開催 9月16日～9月17日

開催地 新潟県スポーツ公園

オンライン －

SWR 8月18日～9月17日

総 収 入	1,932,601円
実 行 経 費	1,431,182円
寄 付 総 額	501,419円

## 富山実行委員会

2回目のリレー・フォー・ライフ・ジャパン  
たくさん的人に知ってもらおう実行委員長  
矢野 征太郎

今回2回目の開催となり、無事に終えることができました。

前実行委員長、伊東重明さんがご逝去され悲しみと不安の中、富山にリレー・フォー・ライフ・ジャパンの活動を広めたいという伊東さんの想いを必ず実現したいと実行委員全員で一丸となり日の限られた中で活動しました。

今回は2回目ですが、より多くの富山の人々にこの活動を知って関心をもってほしいと思い、影響力のある芸人さんやパフォーマーさんなどに参加してもらい、ブースの出店をしていただきリレー・フォー・ライフ・ジャパンの活動のことを知らない人も足を運んでもらいたいと思って活動しました。

結果としてイベントは成功だったと思いますが、課題もたくさんあったと思います。来年以降夜越えをどうするか、夜越えをするためにはもっと実行委員が必要なことや、ウォークをしてくれるチームを増やすための活動など課題は山積みです。次年度以降も実行委員で富山のリレー・フォー・ライフを盛り上げていきますので、活動の趣旨をご理解頂き、ご支援ご協力を承りますようよろしくお願いいたします。



リアル開催 10月14日

開催地 ユウタウン総曲輪

オンライン －

SWR －

総 収 入	566,524円
実 行 経 費	232,993円
寄 付 総 額	333,531円

## 福井県 福井市

## ふくい実行委員会

リレー・フォー・ライフ・ジャパン  
ふくい2023に参加して実行委員  
高橋 穎二

10/7(土)快晴の中、福井市の【ふくい健康の森】で開催されました。5月8日に新型コロナウィルス感染症は5類感染症に位置付けされ、これまでの二日間開催に戻すのかを、実行委員会で何度も検討させて頂いた結果、コロナ明けといふこともあり、当日のみの開催となりました。

日中は開会式・ファーストラップから始まり、ヨガセラピー、がん教育講演会、子どもダンススクール等イベントが開催されました。夕暮れ時、いよいよルミナリエ点灯を迎え、HOPEの文字が浮かび上がった時の感動は、決して忘れることのできないものでした。

24時間がんと闘っている人達やがんになっても前向きに生きる、諦めない…そういった希望を持てる瞬間でもありました。また今回、RFLパスポート用のスタンプ(恐竜をイメージ)を作成することができ、更に福井でのRFLを広げていきたいと思っています。

最後に開催にあたり実行委員のメンバーをはじめ、各関係団体、協力団体の皆様、ご参加頂いた皆様へ、心から敬意と感謝を込めてこのレポートを閉じたいと思います。来年またお会いしましょう!

ありがとうございました。



リアル開催 10月7日

開催地 ふくい健康の森

オンライン —

SWR 10月1日～10月31日

総 収 入 1,134,213円

実 行 経 費 530,552円

寄 付 総 額 603,661円

## 山梨県 甲府市

## 甲府実行委員会

「風林火山隠雷」第2章『火』の巻  
—踏み出す力—実行委員長  
前澤 美代子

コロナウィルス感染の勢いは変わらず、さらに今年も甲府は猛暑となり、感染予防と熱中症予防に配慮した開催となりました。甲府は8年目のイベントとなりました。日本対がん協会垣添忠生会長が開会式に出席、「がん医療の今」についての講演をしてくださいました。また開会式では、初回開催から甲府を支えてくださり、日本対がん協会へ継続的な寄付をしてくださっているリコージャパン山梨支社へのグッドサポーター賞の表彰もあり華やかなスタートとなりました。サバイバーズウォークの後は甲府市長をはじめ、多くの参加者にウォーキングをしていただきました。「がんサロン」を開催し、高校生や看護学生とサバイバーの対話を通して、生きていることを分かち合う時間空間になっていました。さらにサッカーチームヴァンフォーレ甲府の選手によるトーク&サイン会、ルミナリエセレモニー、夜通しの後は、朝ヨガで心と体の中心軸を整えました。お昼ごろの閉会式とバルーンリリースで来年への約束をしました。こうして、次年度に向けた新たな一歩を踏み出しました。開催3日前に依頼があった折鶴の協力に向け、実行委員と学生ボランティアで鶴を折りました。当日の夜中に折鶴イベント発信元の川越実行委員の方が来てくださり、折鶴を直接お渡しすることができました。長野や静岡の実行委員の方も参加いただき、心は一つでつながっていることを実感しました。猛暑以上に熱いイベントになりました。



リアル開催 8月25日～8月26日

開催地 山梨県立大池田キャンパス

オンライン —

SWR 8月1日～8月31日

総 収 入 1,006,191円

実 行 経 費 505,629円

寄 付 総 額 500,562円

## 長野県 長野市

## 信州長野実行委員会

## つなごう命 愛と笑顔で

前年度実行委員長  
北條 千秋

RFLJ2023信州長野を9月9日(土)～10日(日)に開催いたしました。夜通しではありませんでしたが、2日間にわたり、サバイバーを中心としたチームの皆さんと時間を過ごすことができました。

コロナ禍の3年間は、2020年は実行委員による短時間の開催、2021年は中止、2022年はチーム参加案内をしない半日の開催と大きな制約をうけました。その中でも、ご支援、ご協力をいただいた多くの皆さんに感謝を申し上げます。

さて、2023年の実行委員長を務めた松坂千鶴さんについて書かせていただきます。松坂さんは、2023年10月19日に亡くなりました。2012年に卵巣がんとわかり、2013年に実行委員会の活動に参加されました。リレー・フォー・ライフの活動は、ご自身のがんの再発、治療と並行したものでした。幾多の挫折の中で希望を捨てずに、そして自身の体験を多くの方々に伝えるためテレビや新聞等の取材にも積極的に協力し、一人でも多くの方ががんに苦しむことがないよう努力しました。2022年のリレー終了後に2023年実行委員長に就くことが決まり、開催を楽しみにして準備を進めてきたところでしたが、開催の3日前に入院となり、残念ながら参加はなりませんでした。皆と一緒にという思いはかないませんでしたが、その思いは皆でつながります。エンブティテープルをあなたの席として。



リアル開催 9月9日～9月10日

開催地 長野駅東口公園

オンライン —

SWR 8月10日～9月10日

総 収 入 1,498,493円

実 行 経 費 962,779円

寄 付 総 額 535,714円

## 信州まつもと実行委員会

## 長野県 松本市

副事務局長  
大月 ゆかり

10月14日、信州まつものRFLは昨年と同様に松本城大手門枡形跡広場&松本市市民活動サポートセンターにて開催致しました。私共実行委員会は弱小が故に当日にご協力していただけるボランティア様のお陰で成り立っています。RFLに欠かせないルミナリエでHOPEを模ってくださるガールスカウトの女性達。その動きや実行委員の家宝的な存在です。そのルミナリエに心温まるメッセージを「伝筆」という手法で描いてくださっている、みるいで様。今年度は信州まつもとから苦小牧や広島など各地に発信もして下さいました。そして、自衛隊松本地方協力本部の広報の方々には、ゆるキャラでの登場や独自のワークショップなども充実させていただいています。ソニー生命様はどの視点からでも動いてくださるスーパーボランティア集団です。また、トーメ&ふくちゃんは司会と歌声で会場を盛り上げてくださる頼もしい存在です。まだまだ大勢の仲間達が毎年のように私達のそばに居てくれます。私達実行委員だけでは成し得ない、心動かされる雰囲気と一緒に作ってくださる方々の存在こそが、12回連続開催の賜物なのです。最後になりますが、地元のご協賛企業様・団体様、各病院のご担当者様、募金箱設置にご協力くださっている店舗様には、心より感謝申し上げます。来年は、この素敵な仲間達とともに信州まつもの聖地であるやまびこドームで、皆様のご来場をお待ちしております。



リアル開催 10月14日

開催地 松本城大手門枡形跡広場他

オンライン —

SWR 10月14日～11月13日

総 収 入 517,677円

実 行 経 費 167,990円

寄 付 総 額 349,687円

## 岐阜県 岐阜市

## 心の中の特別な場所

実行委員長  
古澤 晴美

今年もたくさんのご協力を頂き、ぎふメディアコスモス、カオカオ広場にてリレー・フォー・ライフ・ジャパン岐阜を開催することができました。心よりお礼申し上げます。多くの方が訪れる岐阜市の中心地の図書館という場所での開催は大変有意義なものでした。早朝から100名を超えるボランティアの方々が集まり準備をしてくださいました。

ルミナリエで大きなトラックを描きサバイバーの皆さんがフラッグを掲げて誇らしく歩く姿に図書館を訪れた方々からも大きな拍手が送られました。

今年は高校生ボランティアの協力を得てサバイバーズフラッグを復活させることができたのも大変大きな喜びです。

よさこいのダンスパフォーマンス。チンドン屋さんの演奏。笑いヨガ。バンド演奏。書道アートの体験会。サバイバーの方々の体験談など。

最後には参加者の方々の"リレー・フォー・ライフ"の大合唱がカオカオ広場に響きました。

泣いたり、笑ったり、心を解き放って過ごすことのできる特別な一日。

リレー・フォー・ライフ・ジャパン岐阜

またお会いしましょう。どんなときも、一人じゃないよ。



リアル開催 10月14日

開催地 ぎふメディアコスモス

オンライン —

SWR 9月15日～10月14日

総 収 入 619,165円

実 行 経 費 98,197円

寄 付 総 額 520,968円

## 静岡県 静岡市

## 原点からそして再会(開)へ

実行委員長  
渡邊 夏紀

今年10回目を迎えた「RFLJ2023静岡」は、11/18静岡県立大学小鹿キャンパスにて無事開催されました。当日は予想外の強風、真冬のような寒さでしたが、それに負けない参加された皆さまの心の温かさ・やさしさに包まれたイベントとなりました。また、スマホアプリを使用したセルフウォークリー(11/1～30)では65名の方にご参加いただき、目標を達成することができました。

また今年解散された「RFLJながいづみ」の想いも引き継ぎ、過去のフラッグを掲げ、懐かしさと共につながる絆を感じました。

新型コロナが5類へ移行され行動制限の解除に伴い、止まっていた時計が動き出すように、RFLへのリアル参加を再開された方多かったです。会場に来ることが出来たこと、フラッグに手形を押すことが出来たこと、仲間と再会できたことの喜びの笑顔や「また来年もここで会おうね」「来年も手形を押しに来ます」と言った言葉がとても印象的でした。

私のRFLの原点。それは遺族である私が笑顔で歩いているサバイバーの姿を見て元気をもらい、サバイバーのために何かしたい、RFLに関わりたいと思うようになった。リアル参加者が多い今年の開催を通じ、私は「来年もここで再会したい」と思っていただける場所を作ることの大切さを改めて実感させていただきました。ご支援・ご協力くださった皆様、多くの感動を有難うございました。



リアル開催 11月18日

開催地 静岡県立大学小鹿キャンパス

オンライン —

SWR 11月1日～11月30日

総 収 入 1,694,031円

実 行 経 費 192,141円

寄 付 総 額 1,501,890円

## 岐阜実行委員会

## 愛知県 豊川市

“心に寄り添います”  
これまでも これからも実行委員長  
小林 良紀

我が実行委員会は、今年で10年目のチャリティー活動となりました。

5月初旬から『“心に寄り添います”これまでもこれからも』をテーマに掲げて準備を進め、9月8日から10月8日までの間セルフウォークリーにチャレンジし、10月7日から8日は24時間チャリティーイベントを行いました。

セルフウォークリーは、昨年と同様に目標は達成できませんでしたが、歩数・参加人員とも増加しておりPRの成果がありました。課題として個々の歩数をアップするより参加人数の増加が目標達成への近道と結論付けました。次回のチャレンジでは参加人員の増加に努め、目標を達成したいと思います。

チャリティーイベントは、快晴ながら時折強風吹き荒れる中での準備で、参加チームもテントやバザー品が吹き飛ばされないよう悪戦苦闘しましたが何とか開催にこぎつけることができました。イベントは、新MCの軽快な進行の中、チーム紹介や演舞・演奏等、皆さんの素敵なパフォーマンスに会場は和やかな雰囲気になりました。また、夜には大阪あさひ実行委員会からのライブ配信で大阪城ライトアップ及び実行委員の交流を行いました。夜になると一転、冷え込みが身に沁み、高齢化が進む実行委員には厳しい夜通しとなりました。後日の談話で、体力の回復に数日要したと風のうわさで聞きました。そんなあれよこれよの10周年記念イベントでした。来年もみんなで頑張りましょう。



リアル開催 10月7日～10月8日

開催地 豊川市体育館前広場

オンライン —

SWR 9月8日～10月8日

総 収 入 1,515,683円

実 行 経 費 730,199円

寄 付 総 額 785,484円

## 静岡実行委員会

## 三重県 松阪市

## コロナ禍でのリアル開催(3回目)

実行委員長  
大西 幸次

2023年度のリレー・フォー・ライフ・ジャパン三重は、開会式を昨年より1時間早く、よさこいチーム、キッズチアダンスなど新しくパフォーマンスを披露していただく方々を招き、元気をいただきました。

このパフォーマンスを披露していただく方は、なるべくがんに関係の無い方に声掛けし、例えばキッズチアの参加は子ども達で、その子の親にがんの事を知っていたいのを目的としています。

がんの事を知ってる(例えば医療関係者)方が1000人来ていただくより、がんと全く無縁の方に100人来ていただいた方が、少しでもがんの事を知っていただけのでは?と考えています。

がんになんでも不安を少しでも減らすことが出来れば…と思います。

今年は松阪市長も開会式に参加いただき、ケアギバーズラップを1周歩いていただきました。

また来年に向けて、色々と企画検討していきたいと思います。

来年も実行委員会一同、会場でお待ちしております。



リアル開催 5月20日～5月21日

開催地 松阪市総合運動公園

オンライン —

SWR 5月1日～5月31日

総 収 入 1,049,965円

実 行 経 費 303,520円

寄 付 総 額 746,445円

## 東三河実行委員会

## 滋賀県 大津市

## 5年ぶりの経験したことのない完全対面開催を目指して

実行委員長  
小寄 健吾

10月14日、15日に滋賀医科大学で、実に5年ぶりに学外からの参加者をお迎えしてリレーイベントの完全対面開催を行うことができました。

コロナ禍以前のイベントを知る先輩実行委員はみなさん卒業され、現役実行委員会のメンバーも昨年から大きく変わり、かなり不安もありましたが、実行委員みんなでの頑張りや、滋賀医科大学の教職員の方々、そしていつもご支援ご協力いただいている皆様のおかげで、当日は非常に多くの方にご来場していただき、素晴らしいイベントになったことを非常に嬉しく思います。

今年はコロナ禍でこれまでお会いできなかった方々と遂に直接お会いすることができたので、イベントでは参加者と実行委員の交流企画を充実させました。全国各地からいらっしゃったたくさんのサバイバーさんやケアギバーさんと直接お会いしてお話しできたことは、大変貴重な経験で、将来医療者として働く上での学びも非常に多かったと実行委員一同感じております。

学生のみの運営で至らないところもありますが、学生だからこそできることがあると信じて、今後も全国唯一のカレッジリレーを続けて参りたいと思います。

最後になりましたが、温かいご支援ご協力いただきました皆様に、心から感謝申し上げます。来年もまた滋賀医科大学でお会いしましょう。

今後ともよろしくお願ひいたします。

## 滋賀医科大学実行委員会



リアル開催 10月14日～10月15日

開催地 滋賀医科大学中庭・体育館

オンライン —

SWR 9月15日～10月15日

総 収 入 1,548,738円

実 行 経 費 527,084円

寄 付 総 額 1,021,654円

## 大阪府 貝塚市

## また来年もこの地で！

実行委員長  
朝日 陽子

素晴らしい青空のもと「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2023泉州かいづか」を、10月28日・29日に開催いたしました。場所は大阪府貝塚市「市民の森広場・シェルシアター」。この場所では8回目の開催となりました。

開会式では地元中学校・高校のプラスバンド部の演奏から。その後大会会長の酒井貝塚市長にご挨拶いただき、ファーストラップスタート。その後24時間、たすきをつなぎました。

シェルシアターでの歌やダンス、バンド演奏など、そして会場ではブース出店で、ウォークの合い間のひとときを楽しませていただきました。また1日めのステージ終了後は、隣接する教育センター内にて、市立貝塚病院能勢和宏先生の医療講演「進歩する前立腺がんの診断・治療～市立貝塚病院での取り組み～」も開催し、とても大盛況でした。

エンプティテーブルセレモニーでは素敵なトーンチャイムの音色をバックに、参加チームの代表者による詩の朗読で、先に旅立たれた方を偲びました。

会場は海に面していて、強い浜風で特に晩の寒さはひとしおでしたが、ウォークリーを途切れさせないように頑張ってくださった皆さま、ご参加いただきました皆さま、募金のご協力をいただいた皆さまのおかげさまをもちまして、今年も無事開催することができました。本当にありがとうございました。

## 泉州実行委員会



リアル開催 10月28日～10月29日

開催地 貝塚市民の森

オンライン —

SWR 10月1日～10月31日

総 収 入 847,495円

実 行 経 費 552,238円

寄 付 総 額 295,257円

## 大阪府 大阪市

## 4年ぶりに制限のないリレー

実行委員長  
寺前 靖隆

4年ぶりに制限のないリレー、どれだけの方が会場へ来てくださるか?「よしつ！」と多くの来場があるのか、はたまたオンラインに流れたままなのか。期待と不安の中での開催でした。昨年、これまでで最高に「優しいリレー」を体現できたと喜んでいたのですが、今年はさらに大阪あさひが標榜する「優しいリレー」であったとスタッフ一同大変嬉しい気持ちで24時間を過ごしました。

今年の夏、私自身に前立腺がんが見つかり、サバイバーとして初めて参加するリレーでもありました。ガンが見つかって、自分がどう変わったか?改めて一番強く感じたことは「寄り添う」ということがいかに大切で力強いサバイバー・ケアギバー支援であるかということです。私がガンであるとわかった時の気持ちちは、当たり前ですが同じようにガンが見つかった人全員に共通しているものではないです。ご本人もご家族もそれぞれがいろんな気持ちで懸命に受け止めているのです。言葉をかけることなど決して簡単なことではないです。どんな気持ちでいるかなんて誰にもわからないのです。でも、絶対にひとりにしてはいけない。

だからこそ私達は「寄り添う」ことをもっと大切にしたいと強く強く思つたのです。私のその思いがスタッフに伝わったのでしょうか。本当に今年のリレーは「寄り添う」ということを具体的にアクションとして表現できたリレーでした。これからも「世界一優しいリレー」であり続けたい。

## 大阪あさひ実行委員会



リアル開催 10月8日～10月9日

開催地 大阪市立旭区民センター

オンライン —

SWR —

総 収 入 563,601円

実 行 経 費 62,967円

寄 付 総 額 500,634円

## 関西(芦屋)実行委員会



## 兵庫県 芦屋市

この場所で、私は歩き始めた。  
この場所で、私はあなたと再会する。 明路(ジメさん)英雄

2007年初回開催から17回目で初めて雨の心配をしなくていいグランド開催となりました。

プレイベントの「かたり亭」では初参加のお顔も多く見ることができました。

澄み切った青空の下、全国から沢山の懐かしいメンバーも駆けつけて下さりリレーが始まりました。

グランドのレイアウトも2019年を再現しサバイバーウォーク・ケアギバーウォーク、ルミナリエ・キャンドルセレモニー、キャンドルラン、閉会式も計画通り無事故で行うことが出来ました。

今年も芦屋市の各団体、学生ボランティアグループ、地元市民の一般参加も多くリレー・フォー・ライフ芦屋がさらに定着したと思いました。

最後にご支援ご協力下さった全ての皆様に感謝致します。

また来年もこの場所で再会しましょう。

リアル開催 9月2日～9月3日

開催地 芦屋市立川西運動場他

オンライン —

SWR —

総 収 入 3,728,516円

実 行 経 費 3,531,091円

寄 付 総 額 197,425円

## 兵庫県 神戸市

開催10回目を終えて  
～また新たな一步を～実行委員長  
相川 尚子

「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2023神戸」は、たくさんの笑顔の中、無事にすべてのプログラムを終えることができました。ご協力いただきました皆様に、心より御礼を申し上げます。

今年は初開催から10回目という節目の年であり、多くのイベントがコロナ禍以前の状態に戻る中での開催となりました。コロナ禍でもリアル開催を続けてきた神戸も、今回は元の規模に戻すことや、参加者数への不安を抱えながら開催日当日を迎えたが、来場者からの「元気な神戸が戻ってきましたね」という温かい言葉や、会場内に溢れる子供たちの歓声、そしてサバイバーさんの笑顔と再会を喜ぶ姿を目にし、今年も神戸ならではの命のリレーを繋ぎ、開催できた喜びとともに、リレー・フォー・ライフ開催の意味とがん患者支援を、改めて思いかえす2日間となりました。

今年は梅雨らしいお天気で、夜中からはあいにくの雨模様となりましたが、朝まで笑顔は絶えることなく、無事にゴールを迎えたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

今後も11回、12回と回数を重ねていけるよう、また新たな気持ちで一步ずつ前に進んでいこうと思います。2024年6月にまた、みなとのもり公園で皆さんとお会いできることを楽しみにしております。

## 神戸実行委員会



## リアル開催 6月10日～6月11日

開催地 みなとのもり公園

オンライン 6月10日～6月11日

SWR 6月10日～7月10日

総 収 入 1,786,013円

実 行 経 費 1,686,047円

寄 付 総 額 99,966円

## 和歌山県 和歌山市

## 10回目を数えて。

実行委員長  
富士 希

いつもリレー・フォー・ライフ・ジャパンわかやまをご支援いただきありがとうございます。今年わかやまは2014年度の初開催より10年目を迎えました。コロナ以降初の24時間開催です。

まだまだ以前のようなチームや、ブース参加はありませんが、今年もたくさんの方と会場でお会いすることができました。和歌山城で過ごせた24時間は、皆さんにとってどんな場所になりましたか？

会いたい人に会える 会えない人を思い偲ぶ

誰かを思い歩く 誰かを思い走る

誰かと話せる 誰かと繋がれる

そして、一人じゃないと思える

わかやま実行委員会はこれからもこの思いをつなげて、この場所を作っていくよう頑張ります！来年も和歌山城でお会いしましょう！

## わかやま実行委員会



## リアル開催 5月27日～5月28日

開催地 和歌山城公園砂の丸広場

オンライン －

SWR －

総 収 入 1,534,019円

実 行 経 費 604,161円

寄 付 総 額 929,858円

## 広島県 広島市

## 久しぶりのリアル開催!!

実行委員長  
浜中 和子

RFLJ広島は2020年からのコロナ禍にも負けずオンラインやハイブリッドで毎年続けてきました。今年はやっとリアルに沢山の方にご参加いただき充実した内容のRFLJ広島2023が開催出来て、無事に閉会式を迎えるされました。本当にご協力いただいた多くの皆様に感謝の気持ちで一杯です。プログラムにある様に、「がんと遺伝」「がんと仕事」「がん患者会の思い」「抗がん剤の副作用」「在宅医療」の講演をいただき、大変勉強になりました。沢山のゲストの方が遠方からきてください、歌に演奏、タップダンス等、とても素晴らしい楽しいステージを見せていただきました。今年も「ルミナリエステージ」と「がん患者の思いを伝えるステージ」で、サバイバー（体験者）の思い、ケアギバー（友人）の思いに心うたれ、がんを乗り越えて今も元気に活動している方の姿に励されました。ブースも充実していて、皆さんそれぞれのブースを訪れて楽しんでくれたようでした。今年は長野県からいらっしゃった「みるいで」さんが沢山のルミナリエを集めてくださって美しいルミナリエが会場一杯に並べられました。今年も実行委員の仲間と、多くの皆様のご協力のおかげでこんなに充実したRFLJ広島が開催できることを本当にうれしく思います。がんになってしまって苦しむ人が減って、がんを乗り越えて、希望を持って、自分らしい生活が出来るように、今後も啓発活動が続けられることを願っています。



## リアル開催 9月17日～9月18日

開催地 広島大学病院広仁会館

オンライン 9月17日～9月18日

SWR －

総 収 入 1,539,790円

実 行 経 費 998,085円

寄 付 総 額 541,705円

## やまぐち実行委員会



## 山口県 山口市

## みんなつながっちょる

事務局 会計  
大島 愛子

今年8回目となるRFLJやまぐちは、昨年に続き室内で1日開催となり短時間でしたが開催でき、無事に終えることができました。ご支援ご協力いただいた皆さまに感謝申し上げます。

山口ではこれまで台風の影響で中止や短縮開催になっていたので、いつも台風の心配をしていましたが、室内開催ということで天気の心配がなかったりと良い事がいくつかありました。また、リアル開催できたことを嬉しく思っています。

会場にはたくさんのルミナリエが並べられ、HOPEがすごく綺麗に輝いていて、今年も1周歩くごとに模造紙にシールを貼り参加者全員でHOPEを描きました。色々な絵柄のシールで、ウォークの方々が趣向を凝らして、とても素敵なHOPEが出来上がりました。

嬉しい出来事は、ホームページでRFLを知った県外の方が初めて参加しに来てくださいました。その方はRFLを地元で開催したいと強く希望されている方で、勇気を出して参加され、実行委員と楽しく過ごされたようです。

このように実行委員が参加者に寄り添い、話しかけて一緒に歩いたり、楽しんでいる様子を見て、とても温かい気持ちになりました。参加者も実行委員も楽しめる、温かいリレーをこれからも続けていきたいと思います。

## リアル開催 10月21日

開催地 山口県総合保健会館

オンライン －

SWR －

総 収 入 518,172円

実 行 経 費 181,419円

寄 付 総 額 336,753円

## 徳島県 徳島市

## ファーストラップとともに歩む

実行委員長  
香留 美菜

リレー・フォー・ライフ・ジャパンとくしまは今年は屋内開催とし、時期も秋から春へと変更しました。

場所も時期も変化したことで戸惑いを感じる方もいらっしゃいましたが、がん患者さんやそのご家族を支援し、地域全体でがんと向き合い、がん征圧を目指す気持ちは変わらずその思いを共有する時間になったと思っています。

前年度の開催から半年余りですが、出逢いや再会を喜び合う時間やともにがんについて考える機会は私たち実行委員にとっても力強さに繋がりました。

そして今年からサバイバーラップをやめ、みんなで一緒に歩くファーストラップとしました。すべての列にサバイバーとケアギバーがいます。語り合いながら歩むその一歩はリレー・フォー・ライフとくしまを象徴するような光景です。

昨年に引き続きセルフウォークリレーも同時期に開催し、またリレーパスポートなど新たなグッズも加わったことで、さまざまな方法でリレー・フォー・ライフへ関わってくださる方が増えたことも実感しています。

これからも思いは変わらず、より良い開催へ向けて変化しながら進んでいきたいと思います。

## とくしま実行委員会



## リアル開催 6月3日

開催地 ふれあい健康館

オンライン —

SWR 6月1日～6月30日

総 収 入	429,272円
実 行 経 費	192,583円
寄 付 総 額	236,689円

## 香川県 高松市

## 気持ちをひとつに、一步一步

実行委員  
斧田 茜紀

RFLJ2023かがわ高松は、2023年9月15日～16日にかけて行われました。新型コロナウィルス感染症が第5類感染症に位置付けられて初のイベントで、どれだけ参加者が集まってくれるのだろうという実行委員会の心配をよそに、残暑厳しい中、二日間で287人の方にご参加いただきました。ウォーク中は、バンド演奏やオペラなどでステージ上からイベントを盛り上げていただき、参加者が笑顔で歩いている様子が印象的でした。夕刻からはルミナリエバッグに明かりが灯り、瀬戸内の心地よい海風をうけて歩くことができました。ウォーク中、ルミナリエバッグひとつひとつに描かれたメッセージを読んでいると、たくさんの人の思いや祈りが込められていることに胸がいっぱいになりました。また夜間は、団体で参加してくれた方々が順番に歩いて、ウォークを止めないように頑張ってくれていました。サバイバー、ケアギバー、関係者の方々、一般の方も気持ちがひとつになり前を向けるイベントになったのではないかと思います。

最後になりましたが、ご協力、ご参加、ご支援をいただいたみなさまに、心より感謝申し上げます。

## かがわ高松実行委員会



## リアル開催 9月15日～9月16日

開催地 サンポート高松

オンライン —

SWR 9月1日～9月30日

総 収 入	1,186,537円
実 行 経 費	407,443円
寄 付 総 額	779,094円

## 高知県 高知市

## 支え合う活動の継続を

副実行委員長  
甲藤 浩之

16回目となる本年も昨年に引き続き24時間開催で行われ、参加者の笑顔あふれる中で盛況のうちに無事終えることが出来ました。参加者の皆様、二日間に渡りお疲れ様でした。今回は17チームの申込みと総参加者数は800名に上り、SWRも多くの方々にご参加頂きました。あわせてルミナリエバッグには1,000を超える賛同を頂き、色とりどりで描かれたイラストや心温まる文言に元気をもらいました。また今までのブース出店者の方々に加え、初めてキッチンカーも出店して頂き、他にも管弦楽団の演奏・ライブコンサート等があり参加者からも大好評でした。RFLの活動はもちろんメインイベントである24時間リレー開催にあり、実行委員会にて例年通りほぼ一年をかけ準備しています。沢山の案件を会議の中で、皆でより良い内容を作り上げる過程は、やりがいを感じる時もあります。そんな中で日々思うことは実行委員とサバイバー・ケアギバー、参加者、出店者、関心を持って頂いた方々全てが、開催日に向けてお互いに想いを一つにしていく姿に一体感、つまり「支え合う活動」を垣間見る次第でした。最後になりましたが、ご支援・ご賛同頂きました各企業、団体の皆様、個人の皆様に、心より感謝いたします。誠にありがとうございました。これからも、がんと闘っているサバイバー・ケアギバーの方々の心に寄り添い、この高知の地で「想いを繋ぐ」活動を継続して行きたいと思います。



## リアル開催 10月14日～10月15日

開催地 高知県立春野総合運動公園

オンライン —

SWR 10月1日～10月31日

総 収 入	2,138,623円
実 行 経 費	1,267,623円
寄 付 総 額	871,000円

## 福岡実行委員会

## 福岡県 福岡市

## いつもみんなと一緒に！

実行委員長  
大平 周司

10月22日の福岡は、皆さんの笑顔が空に反映されたようなニコニコの晴天でした。15回目へとリレーを繋げることが出来たことで本当にホッとしています。開催のためにご協力、ご支援いただいた多くの関係者の皆様へ心より感謝申し上げます。

当日は、実行委員やボランティアさんなどのスタッフも含め、約500名の参加者に集っていただきました。その景色は、「毎年の風景」ではあるのですが、とても「貴重で有難い光景」だと改めて感じずにはおれません。久々の再開を喜び合い、また、「はじめまして」と様々な場所で色んな形の交流が産まれ、そこには不思議な一体感のようなものを感じることが出来ます。このようなイベントは他に類が無いのではないかと改めて感じました。

これが全国の多くの場所で開催されていると思うと本当に不思議な感覚です。福岡だけではなく、全国の多くの場所で「いつもみんな一緒に」などと、HOPEと共に温かく、そして、ゆっくりと灯るルミナリエを眺めながら「また来年も！」と言う気持ちになっています。このリレーがずっと続くことを心から望んでいます。

皆様、本当にありがとうございました。



## リアル開催 10月22日

開催地 福岡女子大学

オンライン —

SWR —

総 収 入	796,048円
実 行 経 費	131,055円
寄 付 総 額	664,993円

## 佐賀県 佐賀市

## 第9回目の大会となるRFLJ2023佐賀

事務局長  
木下 博和

RFLJ2023開催では、コロナ禍以前の開催は台風の影響で1日のみの短縮開催となったものの、基本は夜越え2日間の開催としておりました。

今年の開催形式について検討した結果、リアル開催となつても感染への注意は必要であり、夜越えの開催とした場合、参加者の皆様、特にサバイバーの皆様には体力的、精神的にご負担をかけする可能性があると判断し、2023年度は9月16日13時から21時までの1日開催とすることといたしました。

当日は晴天の青空のもと、開会式、サバイバーズラップから始まり、サバイバーズトーク、車座になってトークの登壇者のサバイバーと一緒に語らいの場をつくり、参加者の皆様にはサバイバー同志のつながりが持てて充実したひとときを過ごせたと思います。ルミナリエセレモニーもコロナ禍以前のように実施ができました。夜、最後のプログラムでは、熱気球「夢バルーン」の夜間係留を行い、バルーンが地上から立ち上るとともに大きな歓声もあがりました。一日のみの開催ではありますが、来場の皆様から「来年もまたこの場所でバルーンがみたい」という感想をいただき、希望と感動を与えることができた開催となったのではと思っています。2024年の開催は10年目を迎えることとなり、多くの方により知って頂き、参加して頂くことを念頭において活動を続けていきますので、今後ともご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。



## リアル開催 9月16日

開催地 どんどんの森  
オンライン —  
SWR —

総 収 入	1,815,099円
実 行 経 費	1,434,443円
寄 付 総 額	380,656円

## 長崎県 佐世保市

## サバイバーファーストを目指して

実行委員長  
吉村 市代

第2回RFLJ佐世保が9月9日～10日終了しました。初回の反省点を踏まえ、みんなが楽しく少しでも多く希望や感動を実感してもらえるリレーを目指し実行委員会が立ち上った頃、私はまさかの2度目の乳がんが見つかり関係者に心配をかけながらサバイバー1年生実行委員長に再任しました。

今回、私がどうしてもクリアしたい事は昨年構想だけで終わってしまった「サバイバーサロン」を開催する事でした。場所は、雨でも問題なし、エアコンの効いた快適なスペースを確保してあります。サロンの進行は昨年数時間遅れでリレーに参加出来なかっただけ、この快適スペースのお陰で繋がりが出来て実行委員になった方にお任せしてあります。彼女は夕方のサバイバートークにも出演します。病状を心配して同行している娘さんも加わりとても張り切っています。あとは、いかに上手くサバイバーさんを誘導できるかですが、サバイバー交流テントなどの貼り紙案内や声かけでおしゃべりするのに丁度よい人数が集まりました。顔見知りが多い中、少なががらサロンはどちらでしょうか?と訪ねてこられた方の参加は実施した甲斐があった。また、交流テントには、「自分はがん患者で近くに住んでいる。がんのイベントをやってると聞いて遊びに来た」という方の来場も嬉しかった。年が明けたら、このような場を待っていたサバイバーさんを応援するためのRFLJ佐世保号IIIは離陸準備にはいります。



## リアル開催 9月9日～9月10日

開催地 島瀬公園およびその周辺  
オンライン —  
SWR —

総 収 入	2,396,378円
実 行 経 費	1,306,920円
寄 付 総 額	1,089,458円

## 佐世保実行委員会

## 熊本県 熊本市

## 笑顔さくさん♡RFLJくまもと

実行委員長  
山本 宏子

5月13日・14日、4年ぶりに熊本市白川公園にて第13回目のイベント開催を実施しました。私の嬉し泣きの雨の初日となりましたが、翌日は打って変わった快晴の2日目でした。

1日目は例年より気温の低い雨にも拘わらず、2日間で600人近く参加されました。夜越えのリアル開催とはいえ、実際は18時間の開催でステージイベントも縮小しました。しかし、まる3年間の思いが詰まった濃縮されたとても有意義な時間でした。北海道から沖縄まで、見知った仲間の元気な顔、声…直に対面し、感極まる時間となりました。その反面、毎年参加され、毎回ハグをするケアギバーのお爺ちゃんの不参加に心配の2日間でした。また、年初に突然最愛の奥様を亡くされた旦那様が、遺影と共にお嬢さんと参加して頂いた事、滞在時間3～4時間の仲間も遠方より顔を出してくれた事、病気と闘う方や回復されて元気に参加された方々、懸命に向き合われたにも拘わらずこの場でお会いすることが叶わなかった方々、喜びと悲しみが混在する場所でもありました。

治療中の方々の苦しい心の声を聞き、亡くなった遺族の悲しい気持ちを聞き、張裂けそうな胸の内を察しながら、実行委員・ボランティアで熊本スローガン「心ひとつ絆つむいで」、【前を向いて行こう!】と肩を抱ける仲間で在り続けたいと思っています。



## リアル開催 5月13日～5月14日

開催地 白川公園  
オンライン —  
SWR —

総 収 入	1,191,894円
実 行 経 費	904,798円
寄 付 総 額	287,096円

## 大分実行委員会

## 大分県 大分市

夜越え復活!  
-がんとの全ての闘いを讃えつつ-実行委員長  
大坪 美奈子

16年目を迎えた大分は、数年ぶりの夜通し大会を開催いたしました。そのプランクにもかかわらず、3,279名もの皆さまがご参加くださいました。

明るい時間はテント企画などで久々にぎやかなイベントが復活し、暗くなつてからはルミナリエを見に来られる参加者も多く、やはりにぎわっていました。雨になることが多い大分大会ですが今年は珍しく天気に恵まれ、久々にキャンドルの出番がやってきました。温かみのある灯で、ルミナリエだけでなく「HOPE」「RFL」などもキャンドルを並べて作りました。風で消えては点け直しLEDに切り替えましたが、暗闇に煌々と輝くLEDの「HOPE」も、消えない希望を象徴しているようで印象的でした。静まり返った深夜も、サバイバーさんたちのことを思いながら、あるいは大切な方達を偲びながらのウォークは途切れることなく朝まで続き、その久しぶりの光景は夜通し大会ならではの感動を与えてくれました。

少数の実行委員で本格開催を復活させるのには不安がありましたが、夜通し大会の素晴らしさを痛感し、また会場で夜越えされた治療中のサバイバーさんから来年も参加したいとのお声を頂き、来年の開催に向かう励みとなりました。

イベントを楽しみつつ、また、がんとの全ての闘いを讃えつつ、がんで苦しむことのない時代に向かって共に歩く仲間の輪が更に広がっていくよう、今後も活動を続けていきたいと思います。



## リアル開催 9月23日～9月24日

開催地 大分スポーツ公園大芝生広場  
オンライン —  
SWR 9月16日～10月15日

総 収 入	3,045,876円
実 行 経 費	768,082円
寄 付 総 額	2,277,794円

## 大分県 中津市

## 4年ぶりの第2回大会

実行委員長  
福山 康朗

9月2日、3日、4年ぶりの中津のリレーを開催いたしました。2019年に初開催したものの、コロナ禍で中止を余儀なくされたその後3年間、モチベーションの低下と、もうできないのではという不安と闘い続けて過ごしました。それでも、サバイバーさんからの熱い要望を受け再開にこぎつけました。最初に集まった実行委員会メンバーは6人。こんな人数でできるのかと思いつつ半ば強引に日程を決め、最終的には10人の実行委員会で開催にこぎつけました。

始まると、天が味方をしてくれ、程よい暑さの曇り空、雨も降らず、風も吹かずという絶好のコンディションの中、759人ものご参加を頂くことができました。好評の子どもも神楽、有志による管弦楽、ルミナリエ点灯、エンブティーブルと順調にことは進み、ドーンパープルから、最後は、快晴のラストウォークと無事に夜越えのリレーを行うことができました。

参加していただいた皆さん、タスキをつないでいただいたチームの皆さん、ご協賛をいただきました皆さん、テントを貸していただいた近隣の小学校、会場を盛り上げていただいたFM大分の人気DJさん、そして、一緒に頑張った実行委員会の皆さん、本当にありがとうございました。今後も、シンプルな中に感動のあるリレーを目指して続けていきたいと思います。



リアル開催 9月2日～9月3日

開催地 三光総合運動公園

オンライン —

SWR 9月1日～9月30日

総 収 入	986,101円
実 行 経 費	135,101円
寄 付 総 額	851,000円

## 宮崎実行委員会

## 宮崎県 宮崎市

希望の光が消えることなく  
皆がひなたスマイルでありますように実行委員長  
佐藤 拓巨

今年も無事に、12回目となるがん啓発チャリティイベントを開催することができとても感謝しています。多くの企業をはじめ、この活動にご理解ある方々からの支援があったからこそ、有志で集まった実行委員の人数が、ぎりぎりの状態の中であっても、最後までやり遂げることができたと思います。また、当日は、たくさんの方々に遠方からもサポートをいただきました。ルミナリエや募金・寄付といった形でご支援ください本当にありがとうございました。

5年間実行委員として携わらせていただきました。今後も、みんなのために何か出来ることが無いか模索し、日々啓発活動をしていこうと決意を新たにしています。実行委員会の代表として心から感謝申し上げます。ありがとうございます!!



リアル開催 9月30日

開催地 宮崎中央公園

オンライン —

SWR —

総 収 入	576,043円
実 行 経 費	34,852円
寄 付 総 額	541,191円

## 沖縄県 浦添市

## リアル開催で笑顔の交流広がる

実行委員長  
上原 弘美

11月11日(土)12日(日)リレー・フォー・ライフ・ジャパン2023おきなわが開催されました。今年は4年ぶりのリアル開催で実行委員はワクワクしながら当日を迎えましたが、あいにくの雨。そんな中でもオープニングの那覇国際高校生の爽やかな合唱に皆が笑顔になり元気よくスタートしました。各ブースではパネル展示やマッサージ、小物販売やワークショップ、がん教育、あちらこちらで「久しぶり!」「元気だった?」と交流を楽しむ参加者の笑顔が多くありました。

日が沈む頃には雨も上がり、会場にルミナリエが灯りHOPEの文字が輝き温かい雰囲気に包まれ大切な人を偲び、想いを馳せる時間となりました。

サバイバーズトークではAYA世代の方々が当時や現在の治療中の体験や困りごと、これからまだまだ続く自身の人生について、仕事や子育て社会との繋がりなど若年がん患者さんならではの想いを聞くことができました。ここは高校生ボランティアやサバイバーや支援者など様々な立場を超えた交流の場でもあります。医師は白衣を脱いで、患者はパジャマを脱いで、それぞれの物語が語られます。「がんになんでも自分らしく生きられる社会」それが私たちの願いです。

開催にあたり、ご支援ご協力いただきました関係者の皆様に心から感謝申し上げます。



リアル開催 11月11日～11月12日

開催地 浦添てだこ広場

オンライン —

SWR 11月1日～11月30日

総 収 入	1,360,411円
実 行 経 費	1,217,346円
寄 付 総 額	143,065円

## 来年度の開催に向けて

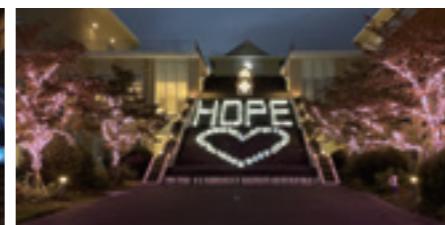
京都実行委員長 尾崎 智代

RFLJ京都は2011年から亀岡市・宇治市・京都市でイベントを開催。2017年からは京都薬科大学を会場に実施してきました。2020年からはコロナ禍でRFLJ京都もイベントの開催が厳しくなりましたがオンラインで繋ぎながら2022年は皆様のおかげで規模は縮小しましたが3年ぶりに対面でのリレーイベントを開催することができました。しかし今年は実行委員の減少などもあり現地開催は断念。セルフウォークリーの開催とRFLJ滋賀医科大学のイベントに参加させていただきコラボ企画として『病院ラジオ』や『RFLJ京都主体のかたりば』などで一緒にイベントを盛り上げるお手伝いが出来ました。またRFLJ京都としてチームを組み参加することでRFLJ京都のイベントに参加予定だった方々とリレーウォークを楽しむことも出来ました。たくさんの参加者と語り、共に励まし合い歩いた時間は胸を熱くし、来年は京都でイベントを再開しなければと思いを新たにしました。

2024年京都の地でリレーイベントを開催し参加者の皆様と手を取り合い“明けない夜はない”と一步一歩歩みを止めないよう頑張ろうと思います。ご支援ご寄付をいただき来年の開催を心待ちにしているとお声掛けくださった皆様に心より感謝申し上げるとともに、来年元気にお会いできることをRFLJ京都実行委員一同楽しみにしております。どうぞこれからもよろしくお願ひいたします。



静岡



福岡



とまこまい

## 2023 特別協賛

総合教育・生涯学習機関



小野薬品工業株式会社

高める、つくる、そして、支える。



熊谷組

Gold Anchor<sup>TM</sup>  
GAジャパンカンパニー有限公司



あなたの未来を強くする  
住友生命

Sony Life

Daiichi-Sankyo

大樹生命  
日本生命グループ

武田薬品工業株式会社

中外製薬  
Roche ロシュ グループ

Bristol Myers Squibb<sup>®</sup>

POLA

MUFG 三菱UFJ銀行

※五十音順

がんで苦しむ人や悲しむ人をなくしたい

公益財団法人  
日本対がん協会



リレー・フォー・ライフ・ジャパン  
公式 HP  
<https://relayforlife.jp>



日本対がん協会公式 HP  
<https://www.jcancer.jp>



リレー・フォー・ライフ・ジャパン  
公式 Facebook  
<https://www.facebook.com/RelayForLife.Japan>